

『令和5年6月26日開催』

福祉保健常任委員会
委員長報告

【令和5年6月定例会】

委員長 福田洋子

先ほど議長から報告がございましたように、委員長に不肖私が、副委員長に奥富精一委員がそれぞれ互選されておりますので、よろしくお願い申し上げます。

それでは、当委員会に審査を付託されました諸議案につきまして、その審査概要と結果を順次ご報告申し上げます。

初めに、歳出の部、第3款「民生費」及び当該歳出に係る歳入並びに第3条第3表「債務負担行為補正」を一括議題といたしましたところ、保育所費及び私立幼稚園支援費にかかわり、物価高騰対策支援金の前年度との積算方法の違いについて等、質疑応答の後、一括採決の結果、起立者全員で可決と決しました。

次に、議案第70号「公の施設の指定管理者の指定について（川口市立並木南保育所）」ないし議案第73号「公の施設の指定管理者の指定について（川口市立戸塚しらぎく保育園）」までの以上4議案を一括議題といたしましたところ、全議案にかかわり、指定管理者の選定における、インクルーシブの観点からの評価について等、質疑応答の後、一括採決の結果、起立者全員で可決と決しました。

最後に、歳出の部、第4款「衛生費」及び当該歳出に係る歳入を一括議題といたしましたところ、保健活動費にかかわり、新型コロナウイルスワクチン個別接種促進事業協力金の支給要件を満たす医療機関数及び接種回数の見込みについて、新型コロナウイルスワクチン個別接種にかかる協力金以外の接種に応じた加算について等、質疑応答の後、討論へと移行し、まず、新型コロナウイルス感染症は、既に5類に移行しており、さらに、当該協力金がなくても多くの支援があるということ踏まえると、この協力金で得をするのは、市民ではなく病院であり、2億円あるのであれば、病院に行くための交通費など市民のために充ててほしいと考えることから、反対するとの意見。

また、新型コロナウイルスワクチン個別接種促進事業は、県が実施していたものを今年度から市に移管されるもので、接種を希望する市民の接種体制を整備することにつながることから、賛成するとの意見。

さらに、医療機関は、新型コロナウイルス対応の中で非常に大変な経営状態を強いられてきた。その中で、ワクチン接種を促していくためには、夜間や休日も含めて、人員などの特別な体制を整えなければならず、そのためにも協力金は必要なものであり、賛成するとの意見がそれぞれ述べられたる後、一括採決の結果、起立者多数で可決と決しました。

以上で報告を終わります。